

令和 3 年 9 月 1 日

市政記者クラブ 様

消防局救急部救急課
担当：森田・渡邊
電話：972-3552



名古屋市消防局



公益社団法人 日本海員掖済会

名古屋掖済会病院

協定締結式を行います

新型コロナウイルス感染症を始めとする感染症のまん延等に伴い、市内救急医療機関の受入れ状況がひっ迫した場合においても、重度傷病者が早期に適切な医療を受けられるよう、「緊急かつ応急的な一時立寄り」の体制を確保し、相互に連携・協力することで、傷病者の救命及び症状悪化防止を図ることを目的とした協定を締結します。

1 協定締結(予定)日

令和 3 年 9 月 2 日 (木) 午前 10 時から

2 場所

名古屋掖済会病院 (中川区松年町 4-66)

救命救急センター 4 階講堂

3 締結者

日本海員掖済会	名古屋掖済会病院	院長	河野 弘
名古屋市消防局	消防長	小出 豊明	

4 式次第(予定)

時間	スケジュール
10 時 00 分	開式・出席者紹介・協定概要等の説明
～	締結者挨拶
	協定書署名
	写真撮影・質疑応答
10 時 30 分頃	閉式

5 主な連携内容

- (1) 緊急立寄り要請に応じた指定場所(以下「緊急立寄り場所」という。)の提供
- (2) 緊急立寄り場所における傷病者管理及び必要に応じた検査、診察、治療等、医療行為の実施
- (3) 緊急立寄り場所において医療機関が行う傷病者管理及び医療行為等への協力
- (4) 最終的な搬送先医療機関に対する医療機関からの必要な情報提供及び救急隊が搬送する上で必要となる助言及び指示

6 その他

今回の協定締結は、本市 2 例目となります。

重度傷病者の搬送先確保困難時における 緊急的な立寄り協力に関する協定について

イメージ

救急現場

- 緊急度・重症度が高く、速やかな搬送が必要。
- 搬送先が決まらない。
- 現場滞在が長時間に及び、症状悪化が懸念される。



早く医療機関に診てもらわないと症状が悪化してしまう。でも、どこの病院も病床がひっ迫していて搬送先が決まらない。

緊急立寄り 協力医療機関

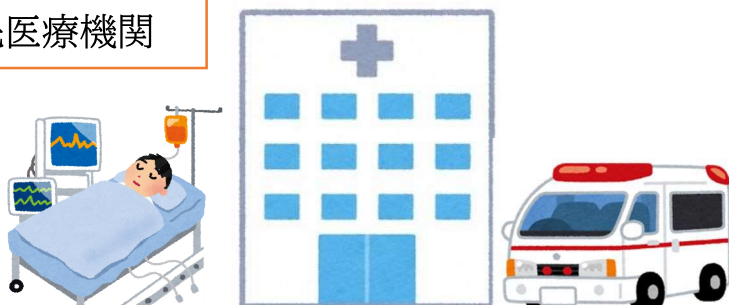
- 受入れるベッドは無いけど、スタッフが対応します。
- 一時的な場所を提供します。(院内に無ければ救急車で)
- 搬送先が決まるまで、症状悪化しないように医療対応します。
- 搬送先が決まったら、搬送先に必要な情報提供をします。



搬送先は消防局が探します。救急隊も処置に協力します。

日本海員掖済会 名古屋掖済会病院

最終的な受入先医療機関



受入先医療機関が決まりました。